

【特集】福祉作業所スマイル工房新設工事に向けて。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第131号

発行2017.10.15
年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

☎042-578-0855

fax.042-578-0466

そよかぜだより



福祉作業所スマイル工房 新設工事に向けて。

野崎功市=文
社会福祉法人そよかぜ理事長

待望久しかったスマイル工房新設工事が、いよいよ本年9月から始まりました。施設建物の完成は来春3月末、また、新スマイル工房の開所は、同年10月を予定しています。この完成を何よりも心待ちにしている方は、ほかならぬ障害を持つ利用者の方々です。

この新設にあたりましては、羽村市当局には土地の無償提供を始め、国都への財政支援の働きかけなど多方面のご支援、ご指導をいただいております。心か

ら感謝を申し上げる次第です。そして、地元の町内会長をはじめ町内の皆様には、この計画段階から、何かとお世話になっております。工事に際しましては、そよかぜ役員、職員をはじめ、工事設計業者(株式会社高水一臣建築事務所)、工事施工者(岩浪建設株式会社)ともども誠意をもって対応いたします。工事が終わるまでの間、地元町内の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

写真上 接続道から見た完成予定図。写真下段左 平成29年8月に建設地で行われた地鎮祭。写真中 地鎮祭にて鍬入れをする野崎理事長。写真右 玉串奉奠をする加藤副理事長と役員一同。

【特集】 福祉作業所スマイル工房 新設工事に向けて。



1



2



3



4

1.接続道から見た完成予定図。2.土手遊歩道から見た完成予定図。3.平成29年9月上旬撮影の建設地。4.工事が始まった建設地。

建設地 羽村市玉川2-3-2
構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上2階建
建築面積 564.26㎡ / **延床面積** 688.83㎡
開所予定日 平成30年10月1日

整備計画概要

羽村市の精神障害者手帳保有者は約360人(平成26年度統計)であるのに対し、主たる利用者を精神障害者としている就労系施設は市内で当事業所が唯一です。手帳未保有の精神・発達障害者は潜在的にさらに多くいると思われますが、現在定員20名である当事業所では入所希望に応えられない状況です。

こうしたことから、利用者の安全な日中活動の場を確保し福祉的就労のニーズに応えるため新たな場所にて定員40名規模の新施設の建設を計画しました。

事業内容 就労継続支援B型(定員40名)

●生産活動の機会の提供

下請け軽作業やパン、クッキー製造販売作業を通じて、集中力や持続力、理解力を養うとともに、生活リズムや身だしなみ、挨拶や協調性など基本的な生活習慣や労働習慣が身に付くように支援します。希望する者には就労移行支援や一般就労に向けた就労支援を行います。

●レクリエーション活動の実施

行事やレクリエーション活動を通じて社会経験を積み、他者とのコミュニケーション能力の向上やストレス解消を図ります。

●生活・相談支援

服薬管理や健康管理、金銭管理が適切にできるよう必要な生活支援を行うとともに、対人関係や病気・将来への不安などの心理的ストレスの軽減を図れるよう相談の機会を設けます。



福祉作業所スマイル工房所長 河村 茂

長年の希望であった新施設での活動が、多くの皆様のお力添えをいただきながら、実現に近づいています。建物本体工事はすでに始まっていますが、新施設開所に向けた内々の準備も少しずつ進めています。また、新築工事実施につきましては、近隣の皆様にはいろいろご迷惑をおかけしておりますが、何卒、ご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

多様化する働き方

少子高齢化が進む中、労働力の主力となる15歳～64歳の生産年齢人口の減少が進んでいます。労働人口の減少は社会の構造にも大きく影響を与えます。国の「働き方改革」では、働き手を増やすなどといった対応策が急がれているところでもあります。

働き方の多様化がすすむ一方で、「注文を間違える料理店」というプロジェクトが開催されました。このプロジェクトは

認知症を抱える高齢者が店員として注文をとるという仕事です。6月にプレオープンした時は60%のお客様に対して何らかのミスがあったそうです。その後、やり方やサポート体制を整えることでミスが25%へと大幅に改善されました。認知症を抱えることで難しいと思われた仕事も知恵を絞ることで実にユニークで可能性の秘めたことも出来るのだと感じます。ミスの無いことが当たり前の風潮

コラム「福祉の時をつかむ」

ですが、認知症を抱えながらも自分らしく生きる姿はなんとも頼もしいものであります。それは、どこか人間味のある暖かい雰囲気を感じないでしょうか。

当法人のリサイクルショップくれよんや資源回収等でも障害を抱えた利用者が活躍をされています。利用者も失敗や経験を積み重ねて将来の頼もしい人材になって欲しいです。

そよかぜホームページ <http://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

10/6に日帰り旅行に行ってきました。遠出の旅となり朝も早く眠そうだった方も、筑波宇宙センターに着くと実物大の大きなロケットの迫力に驚いていました。また、宇宙を身近に感じられるような展示の数々に、まるで本当に宇宙にいるような気分になりました。アクアワールドでは、イルカショーやたくさんのサメを見ました。他にもデザートを食べたりお土産選んだり、皆さんそれぞれ楽しい時間を過ごしていました。

リサイクルショップくれよん

ひばり園のお昼休みを使って「一日くれ

よん」(出張販売)を行いました。玄関のスペースに所狭しと陳列した頃、昼休みのチャイムが鳴り、途端に大勢の方々が商品を見に来られました。普段なかなかお店に来られない方もよく吟味して商品を買われていました。40分の短い時間でしたが、大盛況に終えることが出来ました。

●毎回ご好評をいただいております【全品半額セール】が、10/17まで開催中です。お見逃しなく!スタッフ一同お待ちしております。

福祉作業所スマイル工房

今年も利用者さんが楽しみにしていた宿泊訓練(一泊旅行)に行ってきました。1日



目の横浜八景島シーパラダイスでは、体験プログラムである「シロイルカのおでこにタッチ」に参加し、イルカに直接触れる事や合図を送って演技してもらうなど貴重な体験ができました。2日目の三崎漁港(三浦半島)では、おいしいマグロを食べたり、漁港から乗った船の底の窓からたくさんの魚を観たり、船を追いかけ回すかもめやトンビにエサをあげたりするなど、2日間とても楽しく過ごせました。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間:月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。
※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

学校を卒業して就職した出版社には、新人教育という親切的な制度はありませんでした。仕事を教えてもらうというよりも、「これやっておいて」、「あれやっておいて」、そしてミスをしてたくさん怒られながら、習うより慣れろの精神で、必死に仕事を覚えました。怒られて反省をして、そのときに身につけたことは今でも覚えています。今号の発行までにも私はいくつかのミスをしました。社会人となってから時間は経過しましたが、失敗から学ぶことは多いものだなと思います。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局	☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園	☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房	☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん	☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール	☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい	☎042-555-5512